

ICT 教育について

2023 年 4 月 13 日 (木)

ICT 校務主任 森田

1. 概要

- ・文部科学省の GIGA スクール構想に則り、一人一台デバイスの環境を整え、日常的に ICT 機器を活用しながら、学校教育活動の充実につなげていきます。
- ・世界のデジタル化の流れを鑑み、情報化社会に対応できる児童生徒を育むため、児童生徒の情報リテラシーの基礎と、情報モラルの基礎を図っていきます。
- ・ICT 機器を使うことが目標ではなく、ICT 機器を使って学校での生活を充実させること、ICT 機器を使って日常を便利にするリテラシーを身につけること、これらを目標としております。

2. 機器の状況

	機器の状況
幼稚部	・現時点では、活用しておりません。
小学 1 年	・複数人に 1 台の iPad を本校から貸し出し。 ・台数的には複数人に 1 台の割合。一人で 1 台ずつ使えるように順番に利用。
小学 2-4 年	・児童全員に、1 人 1 台分の iPad を本校から貸し出し。
小学 5-6 年	・デバイス (OS を問わない) を持参できる児童は、持参して利用。 ・デバイスを持参しない児童には、学校から Chromebook を貸し出し。
中学 1-3 年	・全生徒が、Chromebook を持参して利用。 ※中学 1 年生のみ、1 学期は移行期間として貸し出し可。(2023 年度のみ)

3. 活用

- ①児童生徒は、Chromebook または iPad を、学校生活の中で活用しています。
- ②デバイスを使い、次のような活動をしています。
 - ・文書やレポートの作成
 - ・スライドの作成と、学級や学年でのプレゼンテーション
 - ・画像や動画の検索/閲覧
 - ・インターネットを使った、情報の収集
 - ・課題の配付、提出
 - ・写真や動画の撮影
 - ・定期テストの受験※中学部
 - ・学習支援ソフト「すらら」※中学部 など
- ③Google Workspace (教育用) を取り入れ、児童生徒・保護者・職員の全員に Google アカウントを付与し、Google サービスを学校全体で活用しています。
- ④Google Workspace のうち、本校では特に、次のサービスを主に利用しています。

					
Classroom	ドライブ	カレンダー	ドキュメント	スライド	フォーム

- ⑤情報モラルの育成として、次のような内容を指導していきます。
 - ・デバイスの安全な取り扱い
 - ・デバイスと上手に付き合う方法
 - ・デバイスの便利さ、危なさ
 - ・現実世界とデジタル世界の違い など

4. 活用にあたって

- (1) デバイスの利用は、学校内では学校生活に関係するものに限定します。ただし、家庭での理由は特に制限しません。
- (2) アカウントの使用については、家庭においても、学校に関係するもののみ使用可とします。
- (3) 個人でデバイスを持参している児童生徒は、毎日持ち帰ることとします。学校からデバイスを借りている児童は、学校から持ち帰って使用することはできません。家庭にあるデバイスを使って連絡を確認したり資料を見たりしてください。
- (4) デバイスを個人持ちしている児童生徒は、自宅で充電をしてくることとします。充電が切れた場合は、学校のを借りることができます。持参したデバイスに不具合があった場合も、借りることができます。
- (5) イヤホンが必要な場合は、個人で準備してください。イヤホンは、有線のものにしてください。
(無線の場合、バッテリー切れ、接続切れ、などがあり活動が止まってしまうことがあるため)
- (6) Chromebook については、マウスが必要な場合は、個人で準備してください。マウスがあると、使える機能が増え、操作性が上がり、便利になります。
- (7) デバイスを持参する場合は、破損・汚れ防止のためケースを用意することを推奨します。
- (8) 校内での使用については、情報モラル・情報リテラシーの考え方をもとに、校内のルールを設けています。ルールを守れない場合は、デバイスの使用について指導したり、使用を停止したりすることがあります。
- (9) 入学時に付与している Google アカウントは、退学/卒業すると停止（削除）いたします。Google サービスの利用や、ドライブのデータへのアクセスができなくなります。
- (10) 本校ウェブサイトにも、ICT 機器に関する情報を掲載しております。そちらも御覧ください。デバイスについては、[こちら](#)に掲載しております。